

日本薄片研磨片技術研究会 創立 60 周年を迎えて

日本薄片研磨片技術研究会, 創立 60 周年にあたり会
を代表してご挨拶申し上げます。

当研究会の前身である日本岩石鉱物特殊技術研究会
は, 1958 年に大学・研究機関に属する薄片・研磨片作
製の技術者 28 名が, 当時の通産省工業技術院地質調査
所(溝の口庁舎)に集合し, 技術向上を目的に発足さ
れ第 1 回目の会が開催されました。その後 15 年を経た
1973 年には第 16 回大会が開催され, 会場となった東
北大学には過去最高の 63 名の専門技術者が会員として
集い, とても賑やかであったと今は亡き先人より聞き
及んでおります。

時は流れ, 2012 年には盛況であった会も会員数が減
少し, ついに 20 名を切りました。心機一転を図り, 同
年 10 月にはそれまでの「専門技術者の会」の枠を外し,
薄片・研磨片の作製技術に興味を持つ多くの方々を廣
く迎え, 会の名称も日本薄片研磨片技術研究会と改名
しました。第 57 回大会からは, 薄片・研磨片試料を必
要とする観察者側, つまり研究者の立場にある会員も
増加し, 作製方法を発表する技術者と作製試料から得
た結果を発表する研究者との連結発表も行われるよう
になりました。当研究会が技術者と研究者が互いに情
報を共有できる場となったことで, 相互の未来に新し
い可能性をもたらす場にもなったのではないでしょう
か。これはまさに技術者と研究者が歩み寄ることで生
まれた, 過去にはない「新しい場」だと思います。

旧会の全盛期にはまだ少し足りませんが, 会員も毎
年増加しております。ここ数年は学生会員の参加もあ
り, 会の平均年齢が若返っております。また, 他の学
会との共催をとおり, 研究者側からも薄片・研磨片に
可能性を求めて入会される方も増えております。会が
活性化していることは確かです。

当会は日本薄片研磨片技術研究会と改名しましたが,
1958 年当時から今も中心にある核の部分は変わって
おりません。それは先人たちが築き上げてきた伝統あ
る技術を重んじながら新たなる技術を開発する志です。
会の代表として, その志を次世代に継承していくこと
が何よりも大切なことだと感じております。それを可
能にする会員皆様の己に恥じない試料に対する真摯な
姿勢に感謝しつつ, さらなる会の発展を念じておりま
す。

日本薄片研磨片技術研究会

会長 **大和田 朗**